

- 1 だいまくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは三ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

(月 日 曜日)

残念な気持ちより大きかった達成感

永田小 4年 大坪 依緒莉

きんちゅうとわくわく止まらない。今日、

ねたら明日は、遠足。きんちゅうがおさまら

ないままねた。次の朝少し重めのリュック家

を出た。バスに乗った。山道に入るといくと

緑のカーテンががが、たみたいに光がさえぎ

られる。入口にやると着いた。太古岩に今か

ら行く。深きうもしてから一歩進んだ。

雨がふった。かききた。かきばを着てまた一歩進ん

だ。こけがきくらきら光かりながら応えしてく

れている気がする。空を見ると緑の雲でいっ

ぱいになっっている。雨しずくが顔にあたった。

ところも冷めたが、た。つり橋が見えた。思っ

とつても大まなてたよりがたんになたれた。

て初は、先生や友だちとしが、こいられた

が、今は、少しきつい。十分に一回のペリ又

で、立ちどまっで深きうをしめた。あと

もうそろそろだと自分に言い聞かせながら、

一歩、一歩進んだ。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは三ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

「はあはあ。息が切れ初めたころ長い階段が
 目の前に見えた。この階段を登ったら頂上を
 進みながらさう思った。最後の一步。見た景
 色は、雲のすきまから見える小川と木くらい
 だった。でも達成感が残念な気持ちより大き
 かった。つじとうげでお昼を食べた。すべこ
 のつかれが風にとんだ。そのおかげで下りは
 ぐらくに下られた。でもやっぱり少しきつい。
 入口にまた着いた。バスに乗った。緑のカー
 ティンで、光がさえぎられる。バスが信号で止
 まった。見なれた宮のうらの町。やっとなが
 ら下りたという感覚がわいた。バスでいに着
 いた。永田だ。遠足が終った。でも先生たち
 は、帰えるまごが遠足だと言った。帰る中
 足をひねった。
 「いっ
 大声で言った。私に友だちがびくしてた。
 家に着いた。私は、ただいまと言う前に、
 「遠足たのしかったよ。」
 と大声で言った。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの「ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらく「」にぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

私は、ふう、あまり体験がきないことを
 したと思います。次は、きれいな景色を見た
 いです。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、「マスの中」に書きましょう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

